

一般検査学

責任者：専任教員

学年・学期：第1学年・後期

単位数：1単位(30時間)

◆一般目標(GIO)

本講義は医療のなかで臨床検査技師が果たす役割、使命、心構えについて理解させる。医療人としてあるべき姿を認識させるとともに、検体検査のなかで最も基本となる検体の採取・取り扱い方を学びながら、各種検査方法及び臨床的意義など、幅広い専門的知識を修得することを目的としている。さらに、時代に即した最新の技術にも対応できる能力を養い、より質の高い臨床検査技師教育を目指している。

◆到達目標(SBOs)

1. 臨床検査技師の役割と使命を具体的に説明できる。
2. 臨床検査における心構えと一般的注意が理解できる。
3. 採血行為の範囲、採血の種類、採血に関する注意事項、採血の部位と手段、新生児・未熟児及び幼児の採血を具体的に説明できる。
4. 採尿法、採尿条件、尿保存法が具体的に説明できる。
5. 採便法、採便容器、保存法が具体的に説明できる。
6. 喀痰採取法、採取容器、保存法が具体的に説明できる。
7. 生化学的検査、血清検査、血液検査の検体取り扱い方について具体的に説明できる。
8. 胃液、十二指腸液、脳脊髄液の採取法が具体的に説明できる。
9. 咽頭粘液、気管支粘液、膿・分泌液・その他の採取法が具体的に説明できる。
10. 尿検査：尿一般性状検査、一般定性検査の臨床的意義が具体的に説明できる。
11. 尿検査：その他の定性検査、尿顕微鏡検査の臨床的意義が具体的に説明できる。
12. 糞便検査：一般的性状検査、潜血反応、胆汁成分の臨床的意義が具体的に説明できる。
13. 脳脊髄液：一般的性状、化学的検査の臨床的意義が具体的に説明できる。
14. 穿刺液：胸水・腹水・関節液、嚢胞または嚢腫穿刺液、喀痰検査の臨床的意義が具体的に説明できる。
15. 胃液検査：一般的性状、化学的検査の臨床的意義が具体的に説明できる。
16. 十二指腸液：一般的性状、顕微鏡検査の臨床的意義が具体的に説明できる。

チェック

--	--

◆学習方法

教科書の内容に沿って各講義時間内にその内容を理解できるように講義を進行する。

◆評価方法

授業態度、出席状況、試験の総合成績で評価する。

◆教科書

臨床検査学講座 『一般検査学』 三村 邦裕、宿谷 賢一 編集 医歯薬出版(株)

◆参考書

回数	項目	講義内容	担当
1	概論 ①	臨床検査技師の役割と使命	専任
2	概論 ②	臨床検査における心構えと一般的注意	〃
3	採血法	採血行為の範囲、採血の種類、採血に関する注意事項、採血の部位と手段、新生児・未熟児及び幼児の採血	〃
4	検体の取扱い①	採尿法、採尿条件、尿保存法等	〃
5	検体の取扱い②	採便法、採便容器、保存法	〃
6	検体の取扱い③	喀痰採取法、採取容器、保存法	〃
7	検体の取扱い④	生化学的検査、血清検査、血液検査	〃
8	検体の取扱い⑤	胃液、十二指腸液、脳脊髄液の採取法	〃
9	検体の取扱い⑥	咽頭粘液、気管支粘液、膿・分泌液・その他	〃
10	一般検査①	尿検査：尿一般性状検査、一般定性検査	〃
11	一般検査②	尿検査：その他の定性検査、尿顕微鏡検査	〃
12	一般検査③	糞便検査：一般的性状検査、潜血反応、胆汁成分	〃
13	一般検査④	脳脊髄液：一般的性状、化学的検査	〃
14	一般検査⑤	穿刺液、胃液検査、十二指腸液	〃
15	まとめ		〃